

小児、胎児の心血管系疾患の精密検査について



左から小児科 中村 常之医師、秋田千里医師

金沢医科大学病院

小児科 准教授 中村常之

金沢医科大学小児科の専門外来は多くの分野（小児血液、小児循環器、小児神経、小児アレルギー、小児内分泌、小児腎臓、新生児）があります。小児循環器部門は、先天性心疾患（生まれつきの心臓病）の診断や管理が中心ですが、以下の項目について、開業の先生からご相談を受けることがあります。

今回はそれらに対して当科の取り組みを説明します。

【心雑音精査】

ご紹介を受けたお子さまの胸部レントゲン、心電図を行った後、心臓超音波検査を行います。診断結果が判明した時点で、ご両親と本人に、心臓超音波検査の画面を一緒に見ながら、わかり易い言葉で説明します。

ご両親は、大切なお子さまのことなので、緊張した面持ちで受診してきます。そのためにも、きちんと理解してもらうまで丁寧に説明することを心掛けています。

無害性心雑音であるケースが多いのですが、まれに弁膜症（僧帽弁閉鎖不全、大動脈弁閉鎖不全など）と診断される場合があります。当科では3Dエコーを用いた画像診断も行います。

（問い合わせ先）

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital



金	沢	医	科	大	学	病	院	
地	域	医	療	連	携	だ	よ	り

No.14 2015-7 発行

【不整脈精査】

当科では防水ホルター（24時間心電図）を用いて、水泳や入浴時の心電図の変化だけでなく、お子さまの行っているスポーツ中の変化を調べます。小児においては学校あるいは学外の運動参加の是非が最も重要であると考えています。24時間後、再び小児科外来を受診し、その際のホルター解析は、その場で解析し、すぐに説明できるシステムとなっています。

【胸痛精査】

当科の心臓超音波検査には壁運動の局在性の変化を調べる特殊検査（スペックルトラッキング）が装備されており、心筋虚血の変化を調べる事が可能です。また小児の冠動脈奇形と運動時の突然死の関連は多く報告されており、心臓超音波検査にて左右の冠動脈の位置も正確に評価していきます。

【起立性調節障害精査】

思春期を迎えたお子さまは、自律神経失調の症状を訴える事がしばしばあります。“朝起きることができない”“お腹が痛い”“頭が痛い”“身体がだるい”など、いろいろな症状が現れます。当科では小児神経部門と協力し、心臓超音波検査、血管超音波検査、24時間心電図、脳波検査、採血検査など、多角的アプローチで起立性調節障害の分類診断を行います。その上でお子さまに合った治療法を選択していきます。

【胎児心臓精査】

産科開業の先生から、“胎児の心臓の形がおかしい”などの理由で胎児心臓超音波検査の依頼があります。

当科では、30分から1時間かけて検査を行います。先天性心疾患と診断された場合は、ご本人およびご主人に、出生時の状況、治療方法、数年後の治療方針を説明します。胎児不整脈に関しても、Mモード法のみならず、パルスドプラー法を用いた不整脈診断を行い、治療の是非を判断していきます。

小児循環器外来は毎週月・水・土曜日となります（金曜日は要予約にて診察可能）。

胎児心臓超音波外来は毎週月・水曜日の午後になります（要予約）。

小児循環器担当医：中村常之、秋田千里

詳細は下記まで連絡して頂ければ、診察日の予約を行う事が出来ます。

（問い合わせ先）

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital